











「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約締結について ～SDGsの目標達成に向けた当社の事業活動を第三者が評価～

株式会社イーシーセンター（社長 海野 幸男）は、株式会社静岡銀行（頭取 柴田 久）との間で、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス(※)」の契約を締結しましたので、お知らせします。

※企業活動が環境・社会・経済のいずれかの側面において与えるインパクトを包括的に分析し、特定されたポジティブインパクトの向上とネガティブインパクトの低減に向けた取り組みを支援する融資。企業によるSDGs達成への貢献度合いを評価指標とし、その過程を情報開示する。

- 当社は、「私たちの子供たちに残したい未来がある。」という企業理念の下、地域愛やMOTTAINAIの心をもって、解体事業と産業廃棄物収集運搬処理事業を核とした、安心安全な資源循環型社会の形成に努めております。
- 当社の取り組みは、国連環境計画金融イニシアティブが提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」およびポジティブインパクトファイナンスタスクフォースが提唱した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に基づき、一般財団法人静岡経済研究所が(株)日本格付研究所の協力を得て評価しています。
- SDGsの目標達成に資するインパクトについて、以下の通りKPIを設定しています（詳細は「評価書」をご参照ください）。これらの取り組みの進捗・成果は、当社ホームページにて開示します。

特定されたインパクト	KPI（指標と目標）	関連するSDGs
<社会面> 住宅 雇用 包摂的で健全な経済	<ul style="list-style-type: none"> ・年間1,200件以上の解体工事件数を維持する ・業務改善表彰制度や資格取得補助、予防接種費用補助、社内行事の開催などを継続し、高い従業員満足度の維持することで、2025年までに従業員数を2020年の155名から5名増加させ、160名を達成する ・2025年までに、障害者の雇用者数を現状の2名から2名増加させ、合計4名の雇用を達成する ・安全第一主義を維持し、年間の労災発件数を0に留める ・2030年までに、エコキャップ運動でのキャップ回収数を累計300万個達成する 	  
<経済面> 経済の取れん 包摂的で健全な経済	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年までに、付加価値の高いK-ブランドの製造量を2020年の約300tから100t増加させ、400tを達成する ・付加価値の高いRPFの製造量に関して、2020年の5,600t程度を需要に応じ維持していく ・2030年までに、富士山木耳の生産量を2020年の3tから4tの間で維持する ・米の生産量に関して、2020年の300kgを維持する 	 
<環境面> 資源効率・資源安全確保 廃棄物 気候変動 健康と衛生 大気 水 土壌	<ul style="list-style-type: none"> ・マテリアルリサイクルに関して、2030年までに、リサイクル砕石等を2020年の70,000m³から10,000m³増加させ80,000m³を、金属リサイクルを5,000tから1,000t増加させ6,000tを達成する ・乾溜ガス化炉発電施設でのサーマルリサイクルにより、年間4,800kWh発電する ・太陽光発電設備により、累計200万kWh発電する ・アスベスト対策やダイオキシン対策、騒音・振動・臭気・汚泥・粉塵対策を継続することで、産業廃棄物処分業および建設業許可（解体工事）の基準を満たし、事業に必要な許認可を維持する 	    

- 当社は本件の締結後も、同様の志を持つ同業他社様との連携・協力を通じ、更なるSDGsの達成に取り組んでまいります。